

2012年10月4日

報道関係者各位

国際基督教大学 高等臨床心理学研究所 主催  
宮城 震災復興心理・教育臨床センター代表 足立智昭教授 講演会  
「発達生態学的視点から見た被災地の子どもたちと家族」

10月13日（土）、国際基督教大学（ICU:International Christian University/学長・日比谷潤子/東京都三鷹市）高等臨床心理学研究所は、震災復興心理・教育臨床センター代表足立智昭（あだちともあき、専門：発達臨床心理学）宮城学院女子大学教授による講演会、「発達生態学的視点から見た被災地の子どもたちと家族」を開催します。

足立教授は、震災発生直後から被災地での心の復興支援に取り組んでいます。震災発生から15日目には保育者向け心の支援マニュアル「災害にあった子どもと親の心を支援するための心得」を作成・配付。宮城県内の臨床心理士、臨床発達心理士、学校心理士の有志により2011年4月から活動を開始した「ケア宮城」への参加のほか、宮城県仙台市の保育所において、嘱託心理士としてスーパーバイズを行っています。

また、2011年9月には、個別相談、スーパーヴィジョンはじめ、心的外傷の理解と治療に関する講演やワークショップなどを全て無料で行う、震災復興心理・教育臨床センターを本学高等臨床心理学研究所と宮城学院女子大学発達科学研究所の共同プロジェクトとして開設し、現在までその代表を務めています。同センターが共催として行った国際力動的心理療法研究会第18回年次大会の市民公開フォーラム「地震、津波、原子力問題の状況に我々の専門性が寄与できることは何か」において、今回のICUでの講演の内容に連なる発表をされ、国内外の参加者から大きな反響がありました。

今回の講演では、足立先生自身のこれまでの活動や、震災発生から1年半を経過した今もなお多くの子どもの家族が心理的問題を抱えている現状、今後の支援についてお話いただきます。

これからも、継続的な取り組みが必要な心の復興支援。その現状と今後をぜひご取材ください。

なお、取材申込は、次頁最後の問い合わせ先までご連絡ください。

## 記

日時： 2012年10月13日（土）14:00～16:15

会場： 国際基督教大学 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス 2階 国際会議室（建物番号17番）  
（東京都三鷹市大沢 3-10-2：JR中央線・武蔵境駅南口よりバス12分）

キャンスマップ：<http://www.icu.ac.jp/info/facilities.html>

- 講師：足立智明（あだち ともあき）  
宮城学院女子大学学芸学部発達臨床学科教授・同大学発達科学研究所所長  
震災復興心理・教育臨床センター代表
- 震災復興心理・教育臨床センター (<http://ejcenter.wordpress.com/>)

〒981-8557 宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘 9-1-1 宮城学院女子大学 発達科学研究所内  
E-mail: [rinsyo-center@mgu.ac.jp](mailto:rinsyo-center@mgu.ac.jp)

<主な活動内容>

- (1) 被災者の個別相談
- (2) 被災者支援者のスーパーヴィジョン／コンサルテーション
- (3) 心的外傷の理解と治療についての講演シリーズ「震災復興を進める心の教育と治療」
- (4) サポートグループ
- (5) 心的外傷の予防と治療のための心理教育的ワークショップ

<主な活動への参加者数>2011年9月～ (2012年9月22日現在)

スーパーヴィジョン／コンサルテーション：30名

個別相談：34名

小講義：130名

フリーグループ：2名

サポートグループ：50名

ワークショップ：208名

合計：454名

その他、定例開室日以外の活動や共催プログラムを合わせて、延べ987名が参加。

代表：足立智昭（宮城学院女子大学 教授／発達科学研究所 所長）  
臨床オーガナイザー：小谷英文（国際基督教大学 教授／高等臨床心理学研究所 所長）  
臨床ディレクター  
発達心理臨床チーム：足立智昭  
臨床心理チーム：小谷英文

●取材のお問い合わせは ●

<10月12日(金)まで> 国際基督教大学(ICU) パブリックリレーションズ・オフィス 担当: 佐藤、橋本  
Tel: 0422-33-3040 Fax: 0422-33-3764 E-mail: [pro@icu.ac.jp](mailto:pro@icu.ac.jp)

<当日> 国際基督教大学 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス 2階国際会議室 受付まで  
直接お越しください。